

# 自然教育園のセミ類

久居宣夫\*

Cicadas of the Institute for Nature Study

Nobuo Hisai\*

## はじめに

自然教育園のセミ類に関する記録はほとんどなく、「国立自然教育園動物目録第1集昆虫綱」(文部省国立自然教育園, 1952)にセミ類の目録として7種が記載されているにすぎない。これらのセミは、ニイニイゼミなど大半は現在でも生息が確認されている種であるが、この中で、ハルゼミが記録されているのが唯一貴重な資料といえる。しかし、本種は少なくとも30年以上前から生息が確認されていない。

園内のセミ類について、著者は1988年から種別に出現時期および発生量などを記録しており、今回は1996年~2000年の調査結果をもとに報告する。

本報告をまとめるにあたり、種々の情報をいただいた方々に感謝の意を表する。

## 1. 調査方法と調査地

調査はセミ類が出現する6月から10月まで、原則として著者の勤務日に毎日実施した。

調査方法は、園内で鳴いているセミの種を記録し、種毎に鳴き声が聞かれる頻度から相対的な発生量を記録した。

## 2. 結果および考察

### 出現した種の記録

今回の調査で出現したセミ類は6種で、その記録を以下に示す。なお、クマゼミの記録を除き、西暦年の後の日付はそれぞれ初認日と終認日を示す。また、以下のクマゼミの記述中で、無印のものは著者による記録を、日付の後のカッコ内のアルファベットは著者以外の方による記録で、情報提供者の頭文字をそれぞれ示す。情報提供者は次の通りである。桑原香弥美 (KK)、大澤陽一郎 (YO)、矢野亮 (MY)。

園内で繁殖しているセミ類については、月の旬毎の発生量を種別にまとめて表1に示した。また、同じ年における発生状況の一例として、1999年の資料を表2に示した。

---

\*国立科学博物館附属自然教育園, Institute for Nature Study, National Science Museum

なお、発生量は園内の全域あるいは数地点で多くの個体が一斉に鳴いている場合は多い(●で表示：以下同様)、園内の全域あるいは数地点で1箇所あたり数個体が鳴いている場合は普通(●)、園内全域でも数個体程度が鳴いている場合は少ない(・)とした。

1. ニイニゼミ *Platypleura kaempferi* (Fabricius)

1996. 7. 16-8. 21, 8. 22(?); 1997. 6. 29-8. 7, 8. 10(?); 1998. 7. 5-8. 13, 8. 20(?); 1999. 7. 10-8. 21, 8. 25(?); 2000. 6. 21-8. 17, 8. 19(?).

初認日は例年6月下旬-7月上旬で(表1)、教育管理棟前のケヤキで記録されることが多い。

本種の鳴き声は8月中旬頃までよく聞かれるが、その後アブラゼミやミンミンゼミが多くなるにつれて鳴き声の聞き取りが困難になり、終認日は確認されていない(表2)。

2. ヒグラシ *Tanna japonensis* (Distant)

1996. 7. 14-9. 19; 1997. 7. 11-9. 2; 1998. 7. 5-8. 29; 1999. 7. 8-8. 28; 2000. 7. 14-10. 12.

初認日は例年ニイニゼミとほぼ同じ頃が多い(表1, 2)。最盛期は8月上-中旬であり、教育管理棟周辺や森の小道、国立教育研究所跡地、館跡に多い。

3. ミンミンゼミ *Oncotympana maculaticollis* (Motschulsky)

1996. 7. 18-9. 29; 1997. 7. 15-9. 10; 1998. 7. 8-9. 16; 1999. 7. 17-9. 24; 2000. 7. 21-9. 16.

初認日は例年7月中旬で、最盛期は8月上旬-9月上旬である(表1)。

4. アブラゼミ *Graptosaltria nigrofusca* (Motschulsky)

1996. 8. 4-10. 3; 1997. 7. 20-9. 14; 1998. 7. 26-9. 30; 1999. 7. 21-9. 30; 2000. 7. 23-9. 23.

初認日は例年7月下旬で、最盛期は8月上旬-9月上旬である(表1)。

5. ツクツクボウシ *Meimuna opalifera* (Walker)

1996. 8. 4-10. 3; 1997. 7. 22-9. 28; 1998. 7. 30-9. 23; 1999. 7. 25-9. 30; 2000. 8. 2-10. 3.

初認日は例年7月下旬で、本園で発生するセミ類の中では出現するのがもっとも遅く(表2)、最盛期は8月中旬-9月上旬である(表1)。

6. クマゼミ *Cryptotympana facialis facialis* (Walker)

1996. 8. 23(KK); 1997. 8. 1, 8. 3, 8. 5(MY), 8. 29(YO); 2000. 8. 9(YO), 8. 12(MY), 8. 20(MY), 8. 24(MY).

毎年ではないが、時々飛来した個体の鳴き声が開かれる。飛来した個体は数日園内に留まることが多い。食草園や水生植物園での記録が多い。



種名：ツクツクボウシ

年	月旬	6月				7月				8月				9月				10月	
		下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
1996						・	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・	・		
1997					・	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・			
1998					・	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・			
1999					・	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・			
2000						・	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・	・		

表2 1999年における発生状況

種	月旬	6月				7月				8月				9月				10月		
		下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	
ニイニイゼミ			・		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ヒグラシ			・	・	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ミンミンゼミ				・	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アブラゼミ					・	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ツクツクボウシ					・	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

引用文献

文部省国立自然教育園. 1952. 国立自然教育園動物目録 第1集 昆虫綱. 国立自然教育園基礎資料, (1) : 1-42.

Summary

Six species of cicadas are recorded from 1996 to 2000 in the Institute for Nature Study. They are *Platypleura kaempferi*, *Tanna japonensis*, *Oncotympana maculaticollis*, *Graptopsaltria nigrofuscata*, *Meimuna opalifera* and *Cryptotympana facialis facialis*.